

資源の不足は著しく、とりわけ人材確保においてその課題は深刻で、安定したサービスの提供が脅かされている現況がある。

●求められる姿は（目的）

介護人材の不足は介護保険事業所の減少やサービス低下に直結する課題である。今後さらに介護を必要とする高齢者が増加すると見込まれる中で、良質なサービスを安心して享受できる、安定した介護現場の維持向上が求められており、介護人材の確保に対する積極的な取り組みが必要である。

●行政は何をすべきか（基本的方向）

- ①就労に対して意欲や能力、時間的に余裕のある高齢者等の登用
- ②介護職の魅力向上に向けた発信や高齢者の求人求職者の情報など介護に関する情報提供の一元化
- ③外国人材の登用の支援
- ④介護職の処遇改善と負担軽減への施策の充実
- ⑤介護人材確保協議会（仮称）の設立

●主な調査活動

- ◇高山地域介護保険事業者連絡協議会との意見交換
- ◇福岡県福岡市への視察

●産業建設委員会●

「日本一広大な市域の特色ある地域資源を掘り起こし磨き上げる 観光地域づくり推進体制の早期確立」

●政策課題の発生源（背景）

市内の観光入込客数は、400万人を超えているが大半が市街地で滞留され支所地域を訪れる観光客は大幅に減少し、人口減少や少子高齢化が加速する中で、地域経済の活力が年々低下している。市全域での時間・空間の平準化が求められているが、支所地域の観光協会との意見交換では観光振興を推進するために必要な人材や財源を確保することが困難との声が多い。

●求められる姿（目的）

市全域で「観光を活用した持続可能な地域づくり」を実現するため、支所地域の特色を活かした観光施策を推進し、観光資源の掘り起こしと磨き上げを進めるべく、観光地域づくり組織体制を早期に確立する。

●行政は何をすべきなのか（基本的方向）

- ① 観光地域づくり組織体制の強化
 - ・新DMOの地域振興事業部の活用
 - ・観光協会の合併や新たな広域DMOの設立などの検討
 - ・観光協会とまちづくり協議会の役割整理と支援
- ② 地域の付加価値を創出する専門人材の配置とDMC等設立の促進
 - ・各支所地域に専門人材を配置し、地域のプレイヤーと連携
 - ・観光事業のコーディネートや特産品開発の支援
 - ・DMC等の設立を推進し、地域独自の観光戦略を構築
- ③ 広域観光案内所の設置と情報発信の強化
 - ・交通の結節点に広域観光案内所を新設し、観光コンシェルジュを配置
 - ・JR高山駅前の観光案内所の機能充実

●主な調査活動

◇各支所地域の観光協会との意見交換、（一社）飛騨・高山観光コンベンション協会からの意見聴取、先駆的なDMO・DMCの運営を進める自治体・広域観光に取り組む自治体等への視察

DMO：観光地域づくりの舵取りを担う法人 DMC：地域と協同して観光地域づくりを行う法人